



みんなのいえだより

(NO. 114 2021年12月25日発行)

★ みんなの研修 ★

今回は、姫路獨協大学の言語聴覚士の森澤広行氏に、「言語聴覚療法による支援」について研修していただきました。摂食嚥下障害の原因や対処・予防方法、また発語や嚥下機能の低下等については利用者様との会話や聞き取りで、何で困っているのか情報をキャッチし共有しながら必要な支援を行うことで向上できる内容でした。

また、高次脳機能障害については障害の種類の多さに驚きすごく勉強になりました。

まとめとしては、

- ①なぜ困難さが起きているのかを考える
- ②困難さ、現象をスタッフで情報共有
- ③どのように環境を整えるか
- ④本人の生活の質を向上させるよう、利用者が主体となるケアを考える

ぜひ、現場で活かしていきたいです。



みんなのひろば・なう

イオンからクリスマスプレゼントをもらいました。今年は、入浴剤をいただき、早速ポカポカお風呂で疲れた身体が癒されましたと報告を頂いています。これから厳しい寒さが続きますが2022年も笑顔で活動していきたいと思えます。

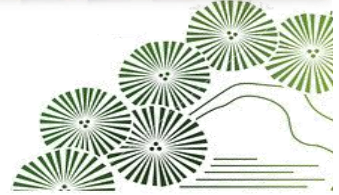


みんなのいえ日和り

12月の中旬から、朝晩の寒さが厳しくなりました。12月は、お誕生日の方が、3名おられました。誕生日カードは、利用者の方が温かいメッセージを添え、手渡しして下さいます。それを受け取った方も、一年の抱負を伝えて下さいます。「元気に長生きしますー」「これからも皆さん楽しく過ごしましょう」と元気な言葉をおっしゃって下さいました。

デイでは、利用者の皆さんが朝の挨拶をして下さいます。その挨拶を聞くと、全員の方が、自然と笑顔になり、笑い声が溢れます。笑いとお心の温もりの力で、ウイルスを跳ね飛ばしていきたいです。

皆様、今年一年、本当にありがとうございました。



言の葉のつぶやき

2021年もコロナに振り回された一年でした。言の葉では、以前つぶやきに載せた介護休暇を取得した職員が、「3ヶ月では結論が出ない」という結論に達したとのことで、退職となりました。はあ〜やっぱり介護は難しいですね。介護の仕事に携わりながら、スタッフの力になれなかった事に、現実の厳しさややるせなさを感じています。また、年末で辻井ケアマネージャーが退職される事になりました。私事ですが、辻井さんは私の母のケアプランを持ってくださり、家では問題行動の多い困った母ですが、辻井さんは「お母さんの好きや〜」と言って下さいました。子供にとってこんな嬉しい言葉はありません。本当にありがとうございました。去る人もいれば、頼もしい職員も入社し、みんなのいえは来年10周年を迎えます。これからもよろしくお願ひします。

